

英彦山柴燈護摩を題材とした海外向けスローテレビコンテンツの制作

霧田 洋介
九州大学
tsuruberutu@gmail.com

金 大雄
九州大学
dwkim@design.kyushu-u.ac.jp

石井 達郎
九州大学
tatsuro@design.kyushu-u.ac.jp

キーワード: スローテレビ、護摩焚き

1 研究背景

近年、テレビ番組の視聴者数は減少傾向にある。様々な要因がある中で、一番はネットの普及があげられる。視聴者は受動的ではなく能動的に自分のみたくコンテンツを取捨選択する時代となっている。こうした状況の中、ノルウェーにおいて「スローテレビ」と呼ばれる新しいフォーマットの番組が作られ爆発的なヒットを記録した。「スローテレビ」は今現在ヨーロッパを中心に広まりつつあり、アメリカでは同様の番組が制作される予定である。このように世界的なコンテンツとなりつつある「スローテレビ」であるが、日本では同様の番組は未だ作られていない。こうした点から「スローテレビ」は、ネット時代における映像コンテンツの新たな可能性を秘めていると考える。

2 研究目的

本研究では制作背景を受け、以下の二点を目的とする。1.)スローテレビの手法を用いた日本独自の文化を紹介する作品を作り、国内外でどう評価されるか検証する。2.)あまり表に出ていない宗教文化を、映像化することで海外の人に興味を持たせるための一つの要素・手段として期待できるか検証する。

3 スローテレビ

スローテレビとは、一つの題材に絞った映像を長時間にわたりゆるく放送するテレビ番組の形式のことである。特徴としてナレーションや BGM、テロップなどの編集が極力ないことがあげられる。スローテレビのコンセプトは1963年アンディ・ウォーホル制作の長編映画「眠り」からきている。これをノルウェー放送協会が現代版として制作したのがスローテレビである。薪をテーマに12時間かけて放送した「全国薪のタベ」では、薪が燃えている暖炉の様子を流しているだけでも関わらず視聴率20%以上を記録し、NYタイムズにも取り上げられるなど多くの反響を残している。



図1:「全国薪のタベ」ワンシーン

4 コンテンツ

4.1. 作品題材

本制作の題材は英彦山柴燈護摩(ひこさんさいとうごま)を選んだ。英彦山柴燈護摩は、福岡県田川郡添田町と大分県中津市にまたがる英彦山において英彦山神宮主催で行われる大規模な護摩法要(外護摩)のことである。本制作の目的に適していることと400年記念祭として行われることで映像作品として残す価値が高いと感じたことから作品の題材とした。



図2: 英彦山柴燈護

4.2. 撮影手法

英彦山柴燈護摩の撮影では4台のXDカメラと小型カメラ1台を用いて撮影した(図3)。4台のカメラで撮影することで視点の自由度を高め、より良い視点からの映像を撮ることを可能にした。また護摩焚きの一番の見所である護摩壇からあがる煙をローアングルで撮影するために小型カメラを用いて撮影した。さらに英彦山の山奥で行われるこの行事の壮大さを伝えるためドローンを使って撮影した。ドローンはDJI社のInspire1Proを使用した。ドローン撮影により英彦山の壮大さを表現でき、これをオープニング映像として使用した。

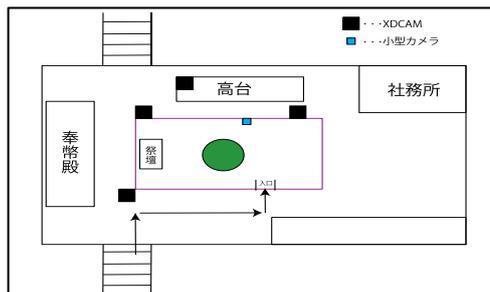


図3:カメラ配置図

4.2. 映像構成

作品全体の視聴時間は約3時間。構成としては以下の流れとなっている。

1.) オープニング



図 4: オープニングシーン

2.) 山伏登場



図 5: 山伏登場シーン

3.) 奉幣殿での声明



図 6: 奉幣殿での声明シーン

4.) 山伏問答



図 7: 山伏問答シーン

5.) 護摩焚き



図 8: 護摩焚きシーン

6.) 火渡り



図 9: 火渡りシーン

5 評価検証

本研究を検証する方法として動画共有サイトを使う。サイト内でアンケートを行うと共にサイトの検証・分析機能を使うことでパーソナルなデータを得ることが見込めると考える。使用するサイトは YouTube と Vimeo の2つとする。この2つを選んだ理由としては、本作品は長時間に及ぶため長時間映像に対応しているサイトであることとサイト内での分析・検証機能が充実していること、この両方を満たしているからである。

1.) YouTube

世界最大のユーザをほこり、幅広い層からの検証が可能である。「カード機能」という動画再生中にアンケートを利用することのできる機能と「アナリティクス機能」という動画を視聴したユーザの年齢や国籍、どのタイミングで視聴をやめたのかがパーソナルデータとしてわかる機能がある。この二つの機能を用いて評価検証を行う予定である。

2.) Vimeo

動画クリエイターのユーザが多いことからプロの意見を集めることが可能である。V サイト内で動画分析が可能となる Vimeo PRO がある。これは動画の統計の概要はもちろん、月間のレポート閲覧が可能となる。さらにエンゲージ数や視聴時間グラフも分析できるため、動画の視聴時間や視聴傾向がわかる。この機能を使うことで評価検証を行う予定である。

6 まとめ

本研究では、スローテレビフォーマットを用いた日本独自の文化を題材とした作品を制作し、その可能性を探る研究について述べてきた。現在コンテンツを制作中であり、完成後には動画共有サイトにアップロードし検証・分析を行っていく予定である。

また今後の展望として、もうひと作品作り検証比較することでスローテレビの可能性をより明確にしていきたい。

参考文献

- [1] ノルウェー放送協会「Slow TV」
<https://www.nrk.no/presse/slow-tv-1.12057032>,
access Sep. 2017.
- [2] Thomas Hellum「世界で一番退屈なテレビ番組がやみつきになる理由」
https://www.ted.com/talks/thomas_hellum_the_world_s_most_boring_television_and_why_it_s_hilariously_addictive?language=ja, access Sep. 2017